

事務連絡
令和3年2月8日

各正会員
事務局責任者様

公益社団法人全国産業資源循環連合会
専務理事 森谷 賢

産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2020年10～12月期】の送付について

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本調査の実施にあたり全産連発第150号(令和3年1月8日付け)にて貴協会会員企業にご協力をお願いしたところですが、今般、景況動向調査報告書【2020年10～12月期】がまとまりましたので、送付いたします。

報告書の概要版につきましては、連合会ホームページに掲載しておりますので、以下のURLをご参照ください。

【報告書概要版の掲載ページ URL】

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

なお、次期の調査(2021年1～3月期)につきましては、令和3年4月中旬頃に調査票の発送を予定しておりますので、ご承知おきください。

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2020年10～12月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は342社から回答があった。景況判断DI(2ページ参照)は▲27となり、前期調査(▲38)から11ポイント改善した。一方、来期の見通しは▲41となり、14ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点(12ページ参照)を見ると、2008年の調査開始以来、初めて「修理、修繕費等の増加」が1位となった。

以下、その他業況感DIの内訳

2020年7-9月期に対して、

- ・売上高DIは11で、20ポイント改善
- ・処理量DIは7で、19ポイント改善
- ・営業利益DIは▲7で、7ポイント改善
- ・資金繰りDIは▲1で、1ポイント悪化
- ・借入難易度DIは9で、3ポイント悪化
- ・設備投資DIは▲1で、7ポイント改善
- ・従業員数DIは▲4で、1ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が1で、前期と変わらず
処分が6で、1ポイント改善

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で0.3%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で3.0%減となった。
- 経常利益率については、平均値が6.2%となった。

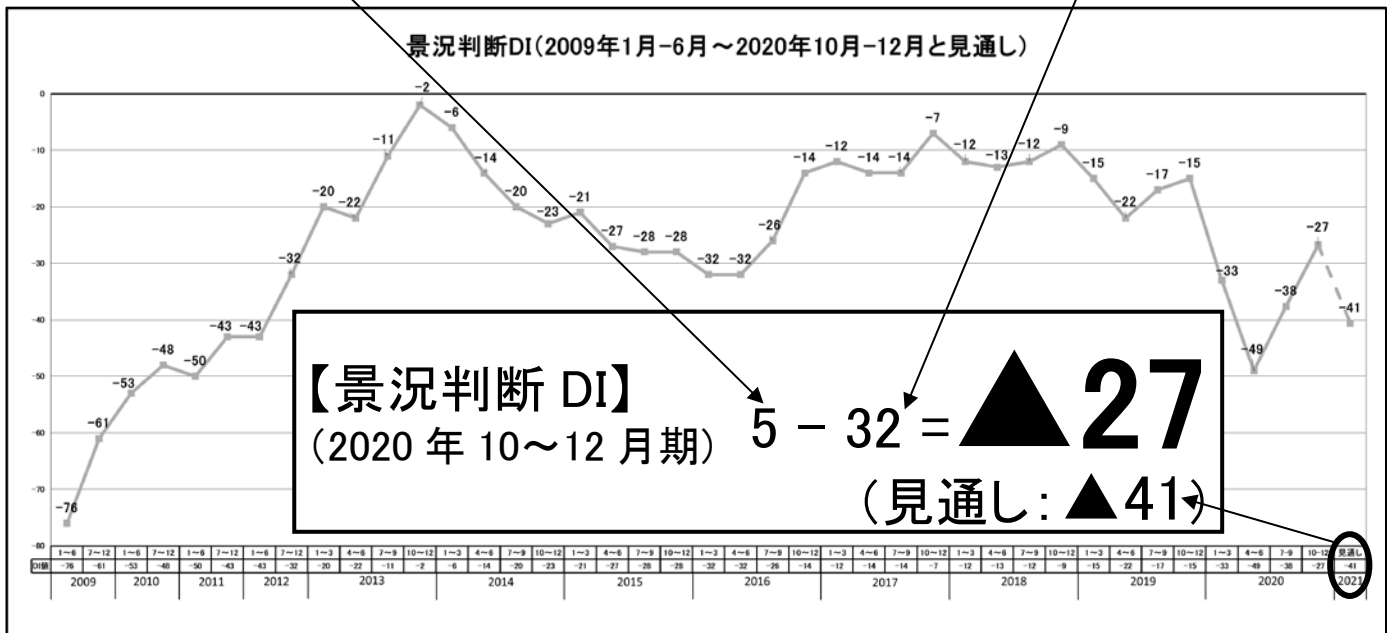
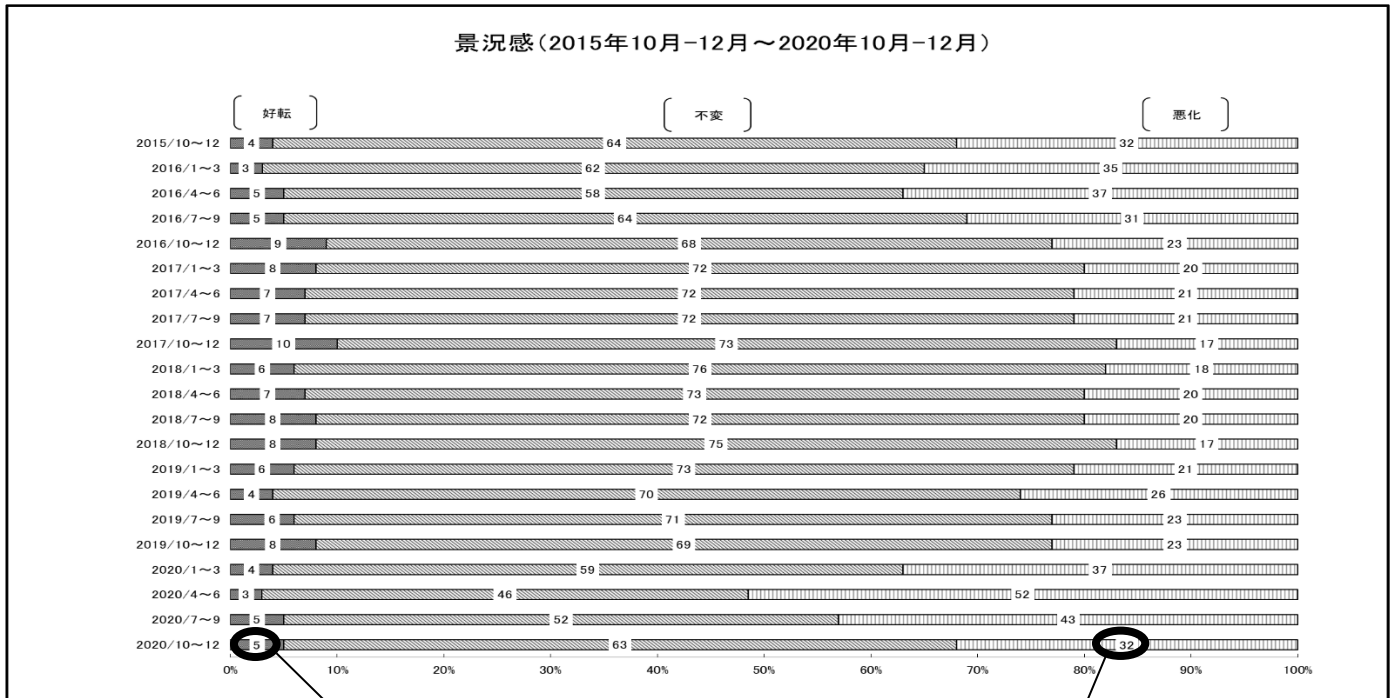
※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

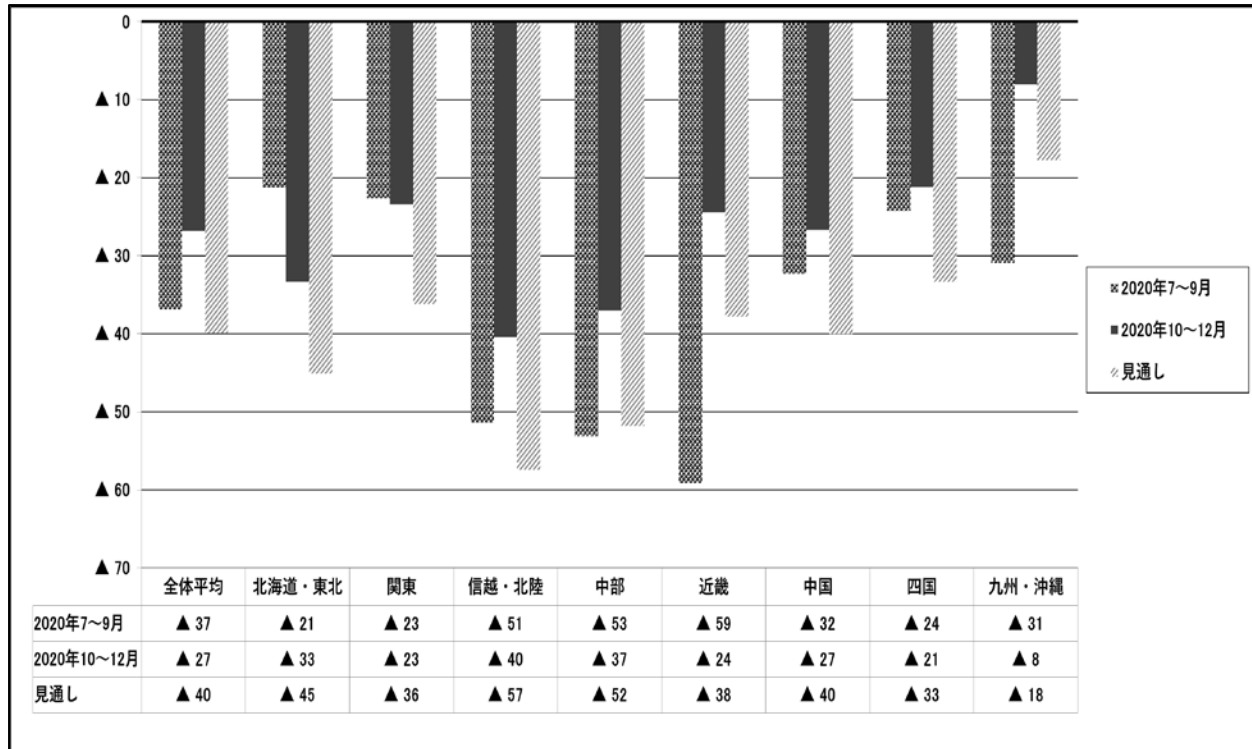
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲27 となり、11 ポイント改善した。
見通しは▲41 となり、14 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「北海道・東北」のみ悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI の見通しをみると、全ての地域が悪化する見込みとなっている。
(3 ページ参照)



地域別景況判断 DI

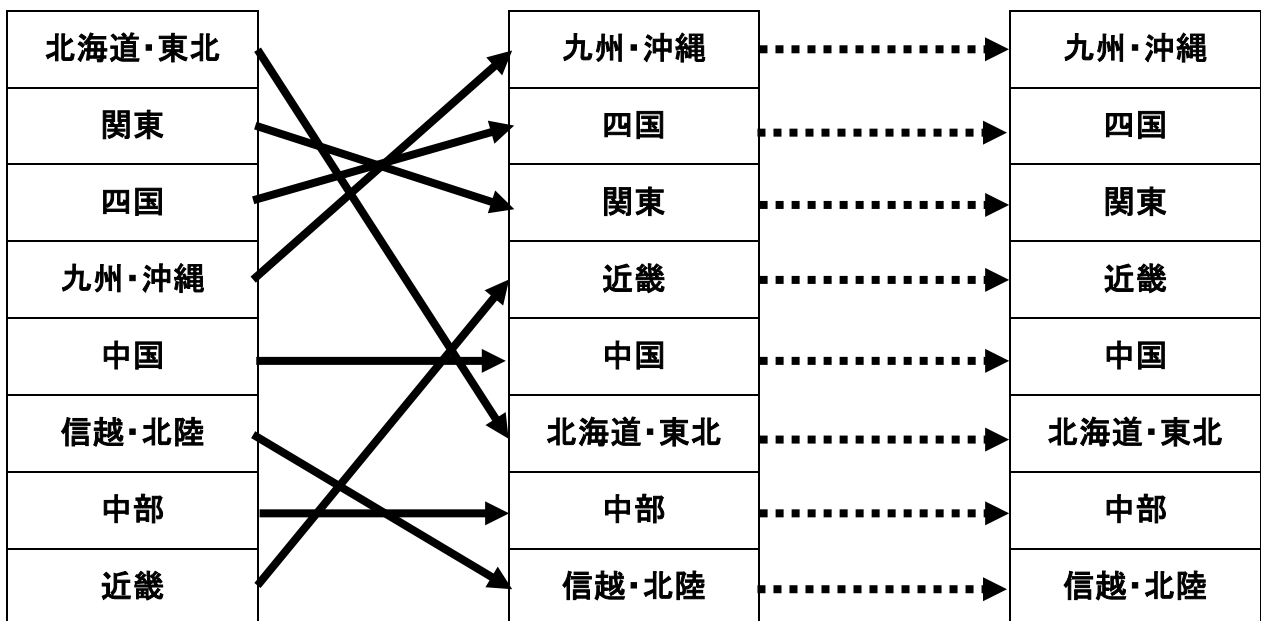


(ランキング推移)

2020年7-9月期
(前期)

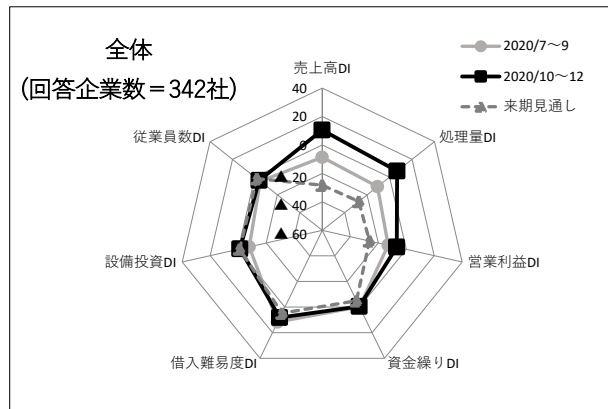
2020年10-12月期
(今期)

2021年1-3月期
(見通し)



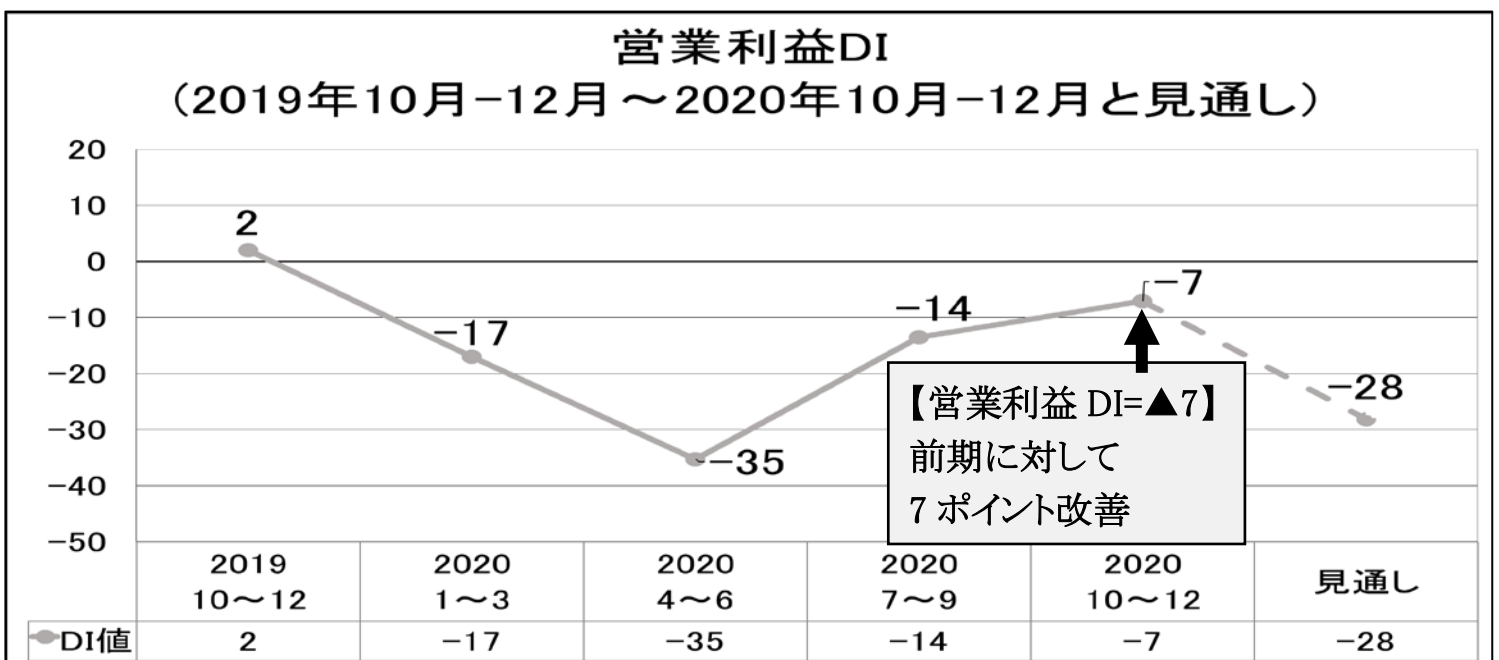
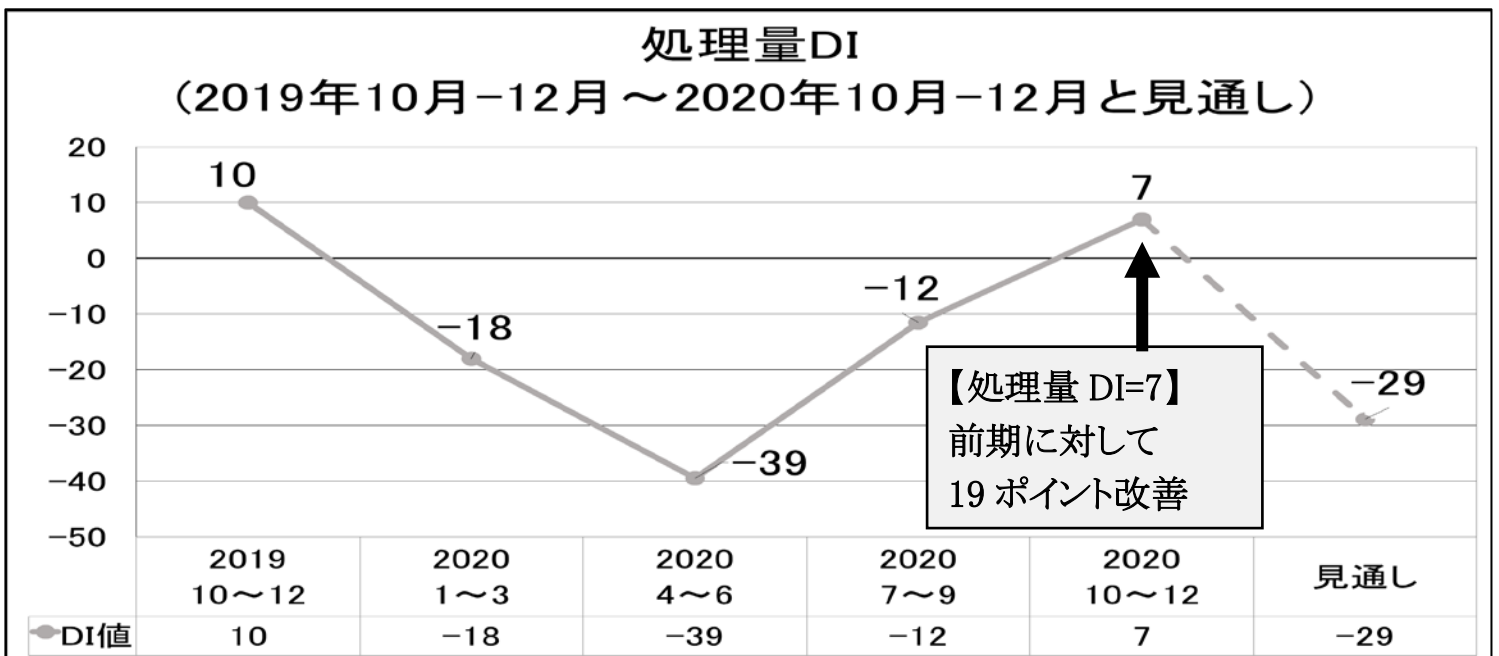
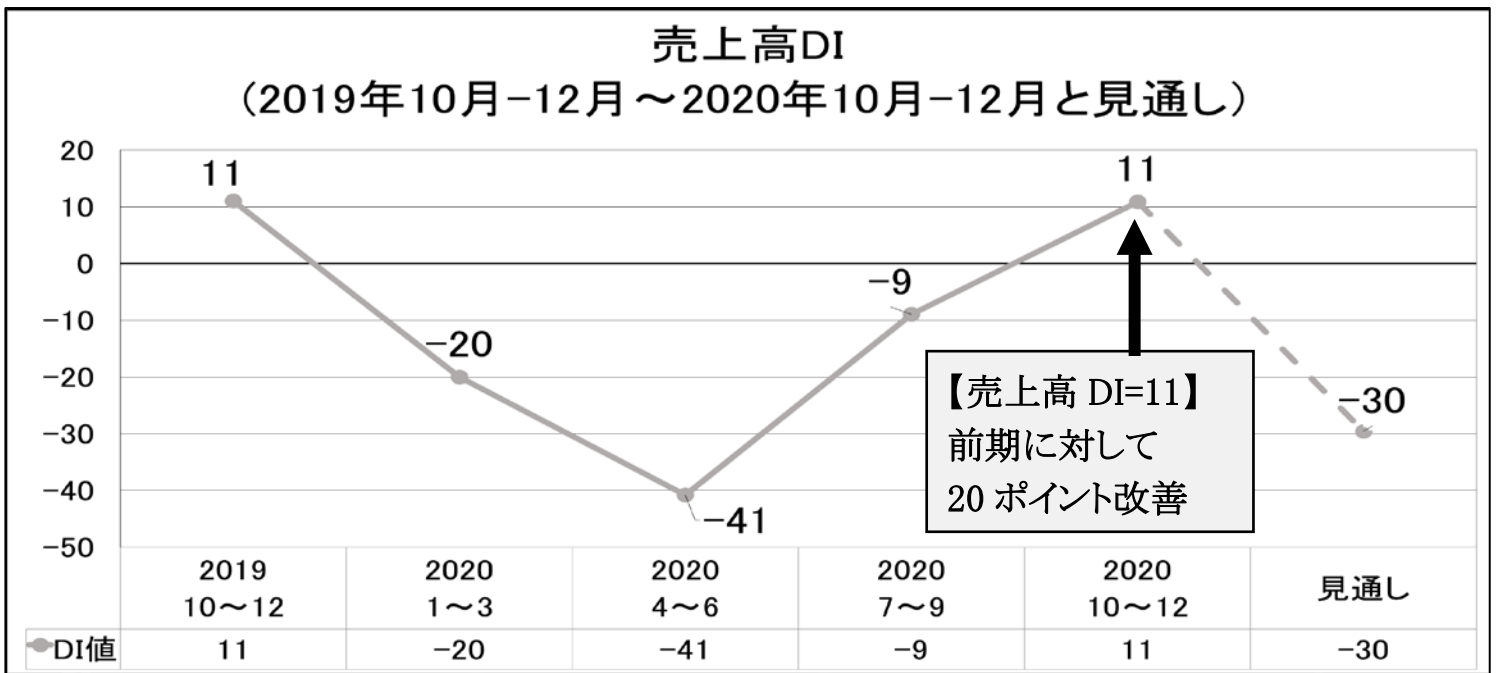
(2) 売上高 DI、処理量 DI、営業利益 DI、資金繰り DI、借入難易度 DI、設備投資 DI、従業員数 DI

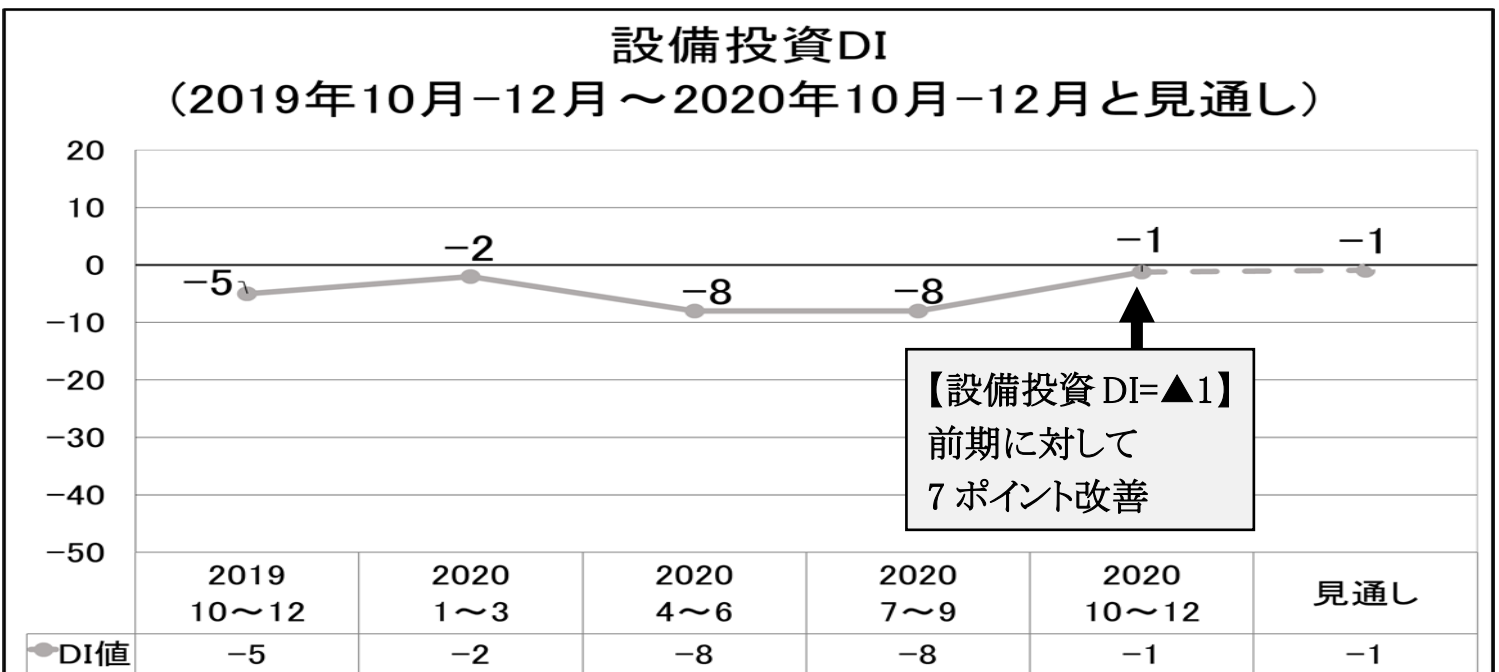
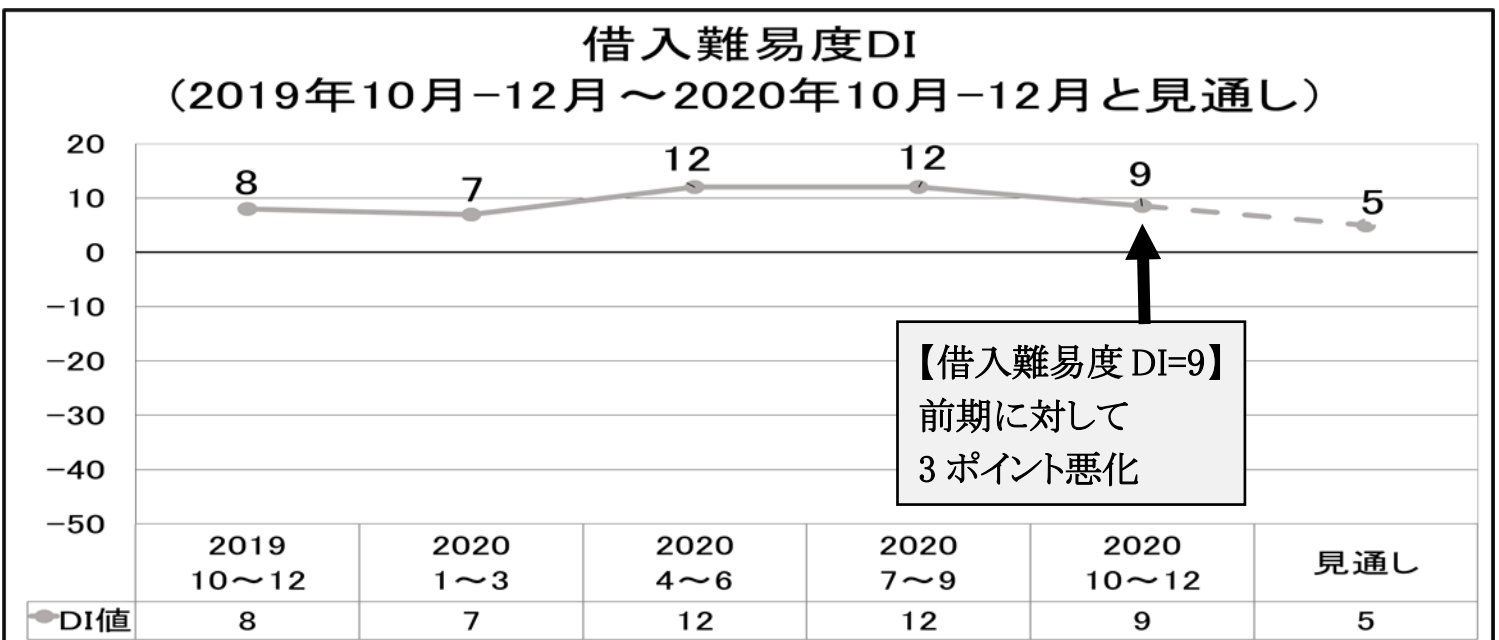
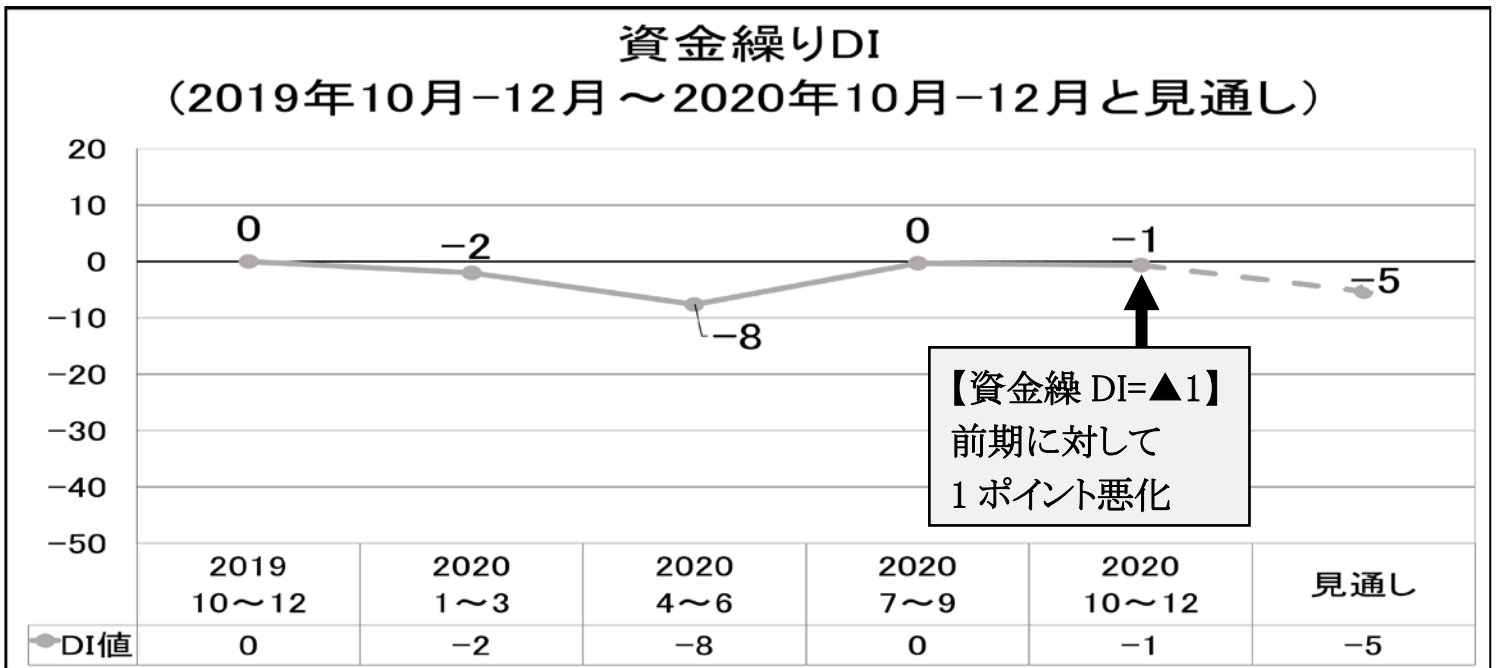
- 前期と比べて資金繰り DI と借入難易度 DI が悪化した。
- 見通しは従業員数 DI のみ改善する見込みとなっている。



以下詳細(5~7ページ参照)

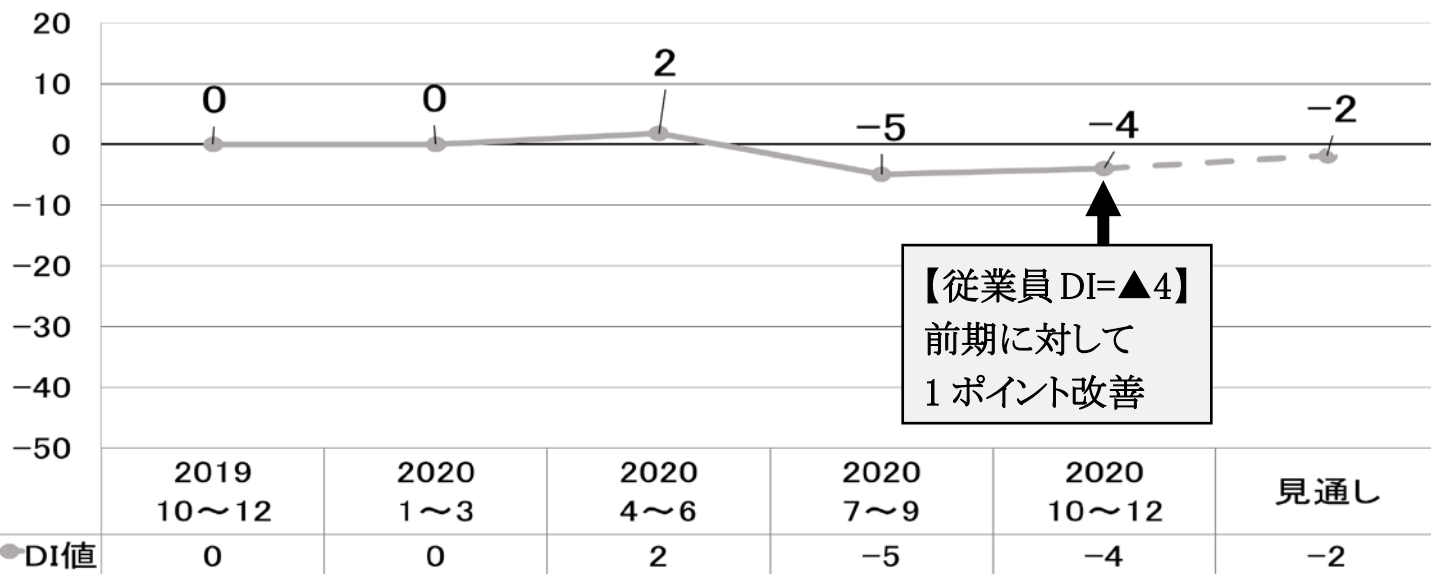
- ・売上高 DI は 11 となり、前期と比べて 20 ポイント改善した。
見通しは▲30 となり、41 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は 7 となり、前期と比べて 19 ポイント改善した。
見通しは▲29 となり、36 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は▲7 となり、前期と比べて 7 ポイント改善した。
見通しは▲28 となり、21 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は▲1 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは▲5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 9 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。
見通しは 5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は▲1 となり、前期と比べて 7 ポイント改善した。
見通しは▲1 となり、変わらない見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は▲4 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲2 となり、2 ポイント改善する見込みとなっている。



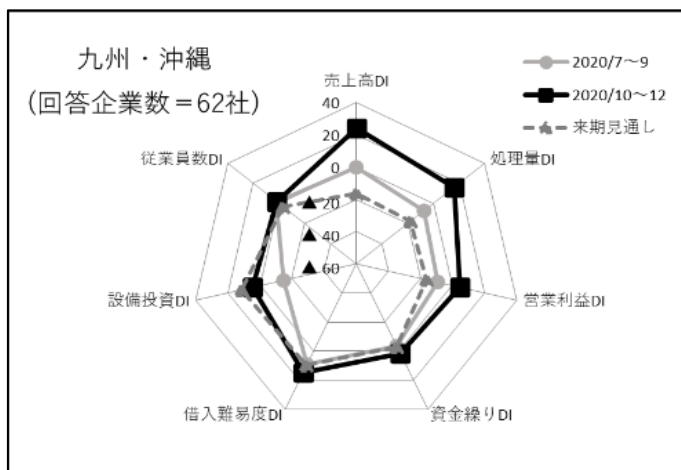
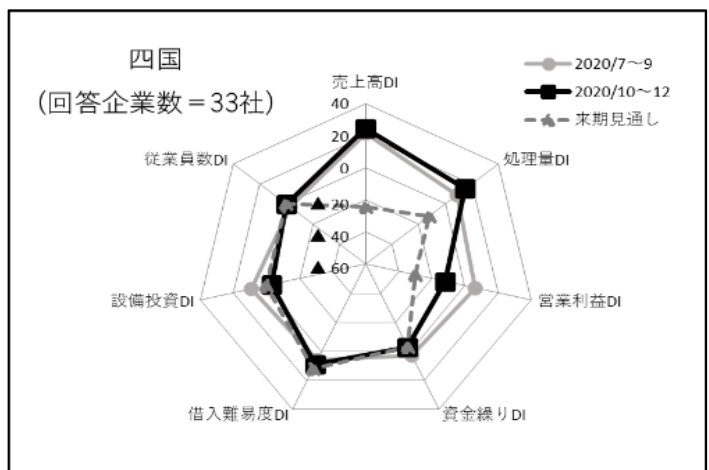
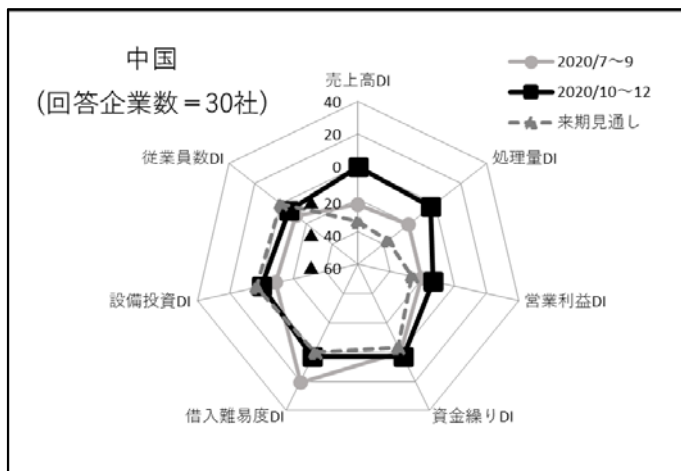
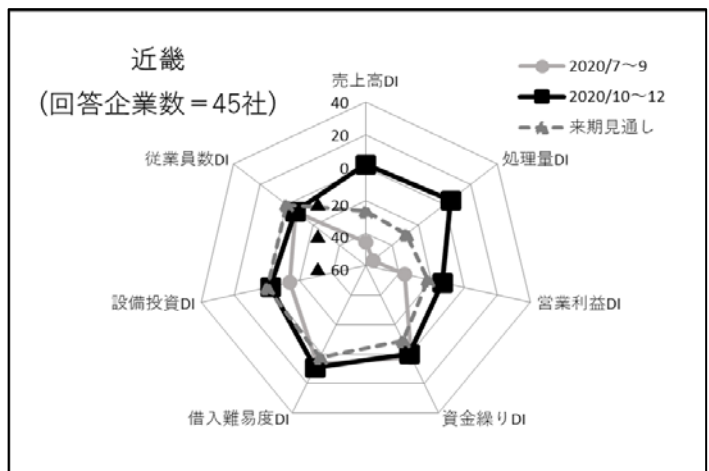
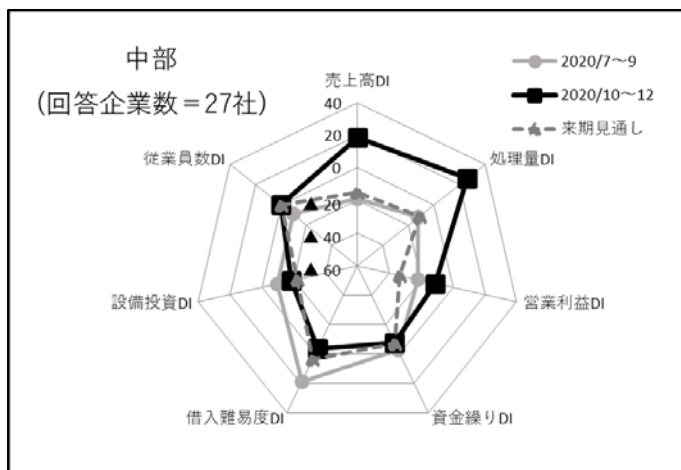
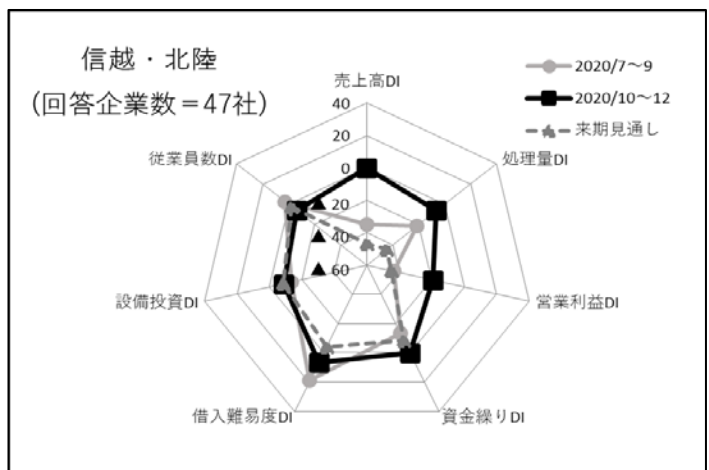
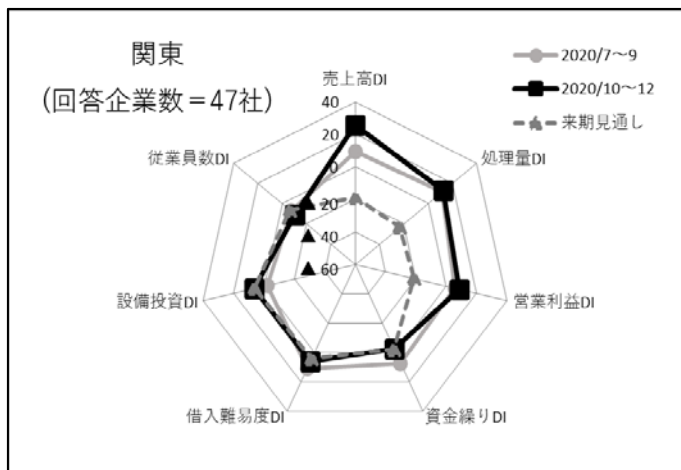
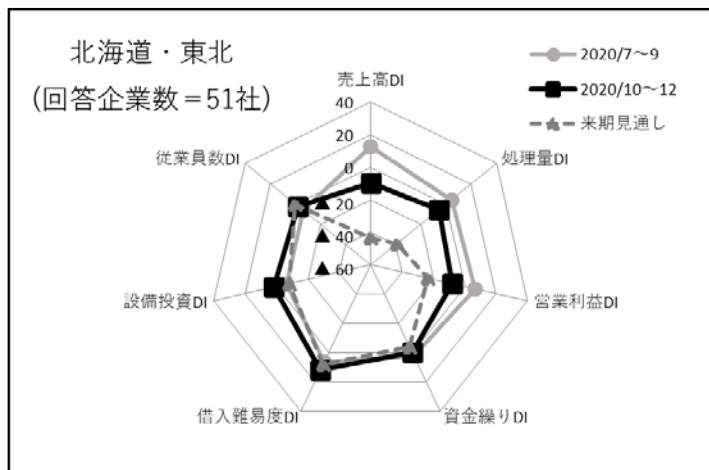


従業員数DI

(2019年10月-12月～2020年10月-12月と見通し)

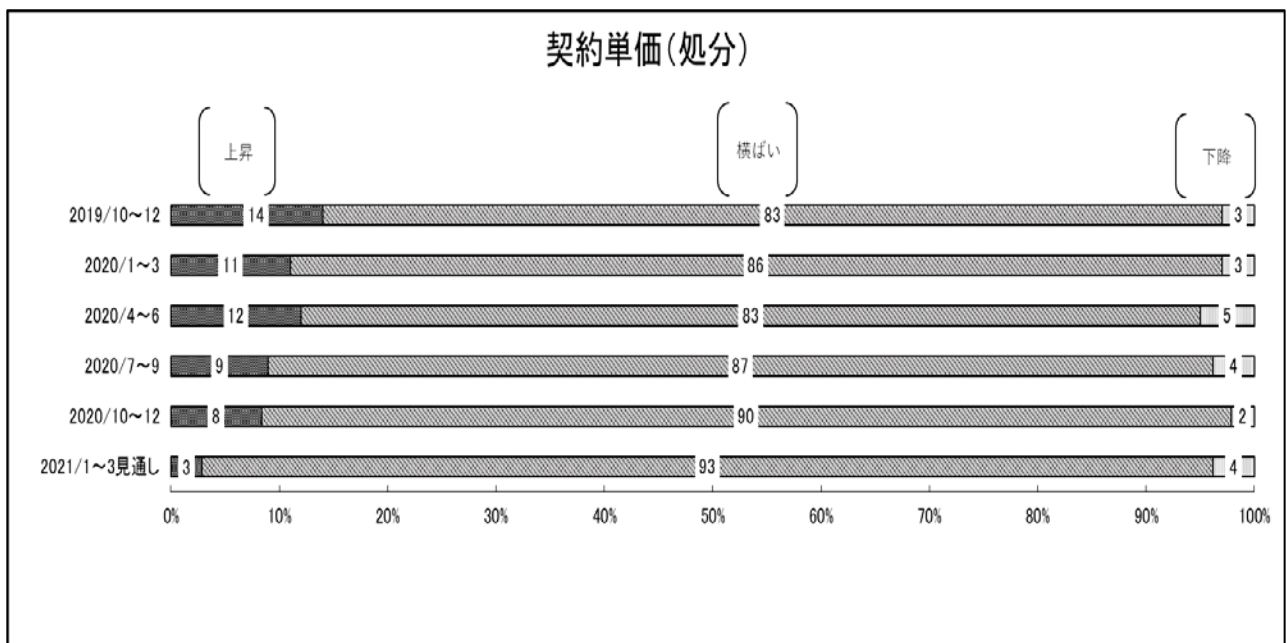
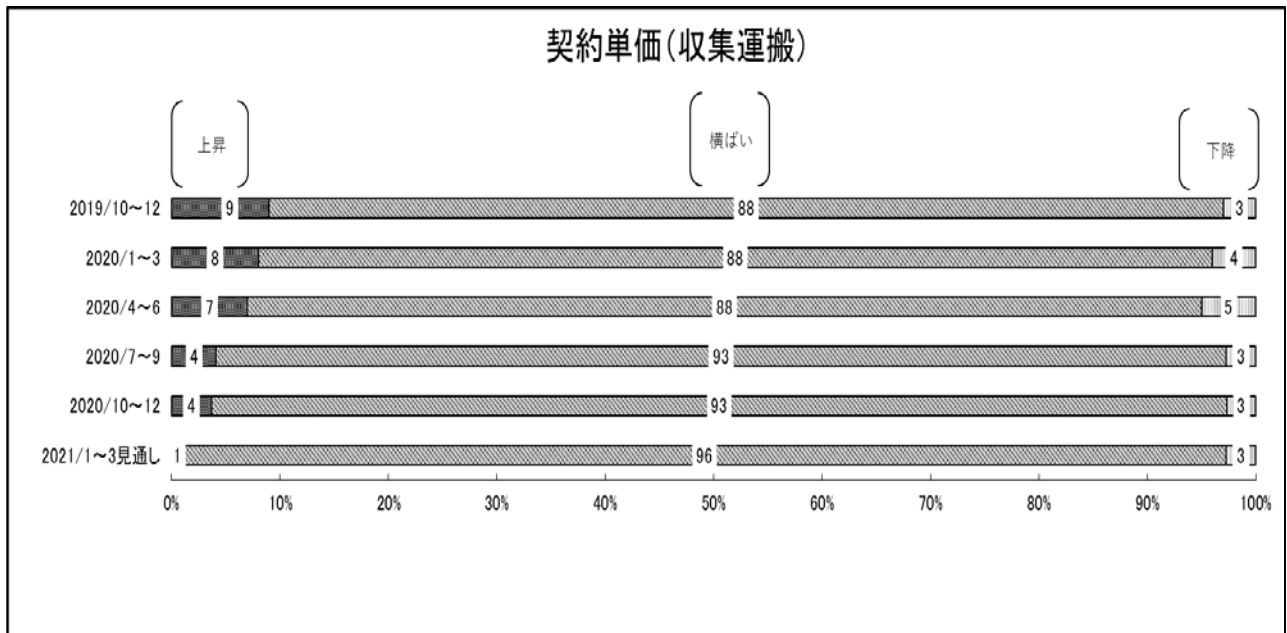


【その他業況感 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 1 となり、前期と変わらなかった。
見通しは▲2 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 6 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは▲1 となり、7 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、0.3%減となった。

有効回答数:153社

単位:千円

前年売上高	2019年10月	2019年11月	2019年12月	平均
	7,241,983	7,492,243	7,901,572	7,545,266
今年売上高	2020年10月	2020年11月	2020年12月	平均
	7,471,423	7,251,593	7,842,618	7,521,878
前年比	3.2%	▲3.2%	▲0.7%	▲0.3%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、3.0%減となった。

有効回答数:161社

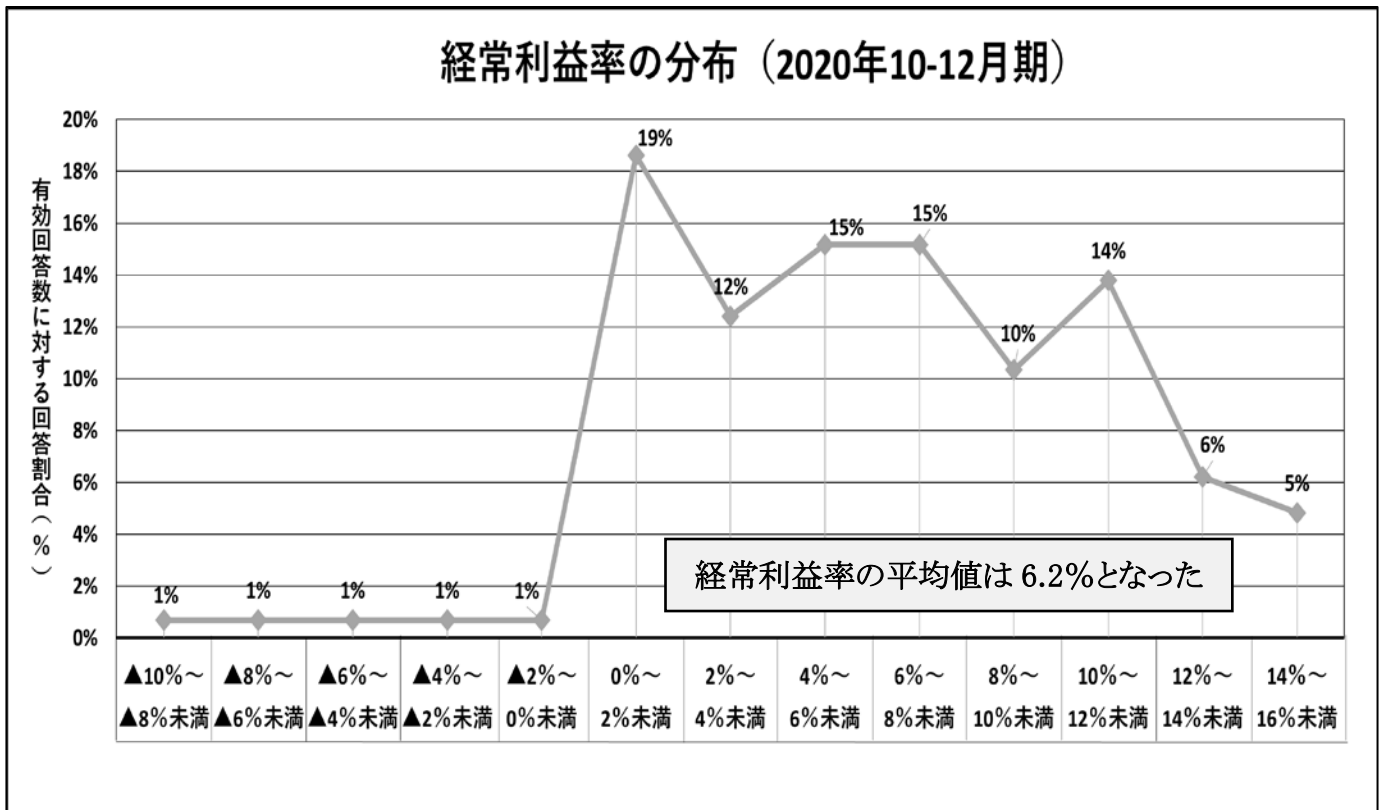
単位:トン

前年処理量	2019年10月	2019年11月	2019年12月	平均
	430,169	457,167	452,918	446,751
今年処理量	2020年10月	2020年11月	2020年12月	平均
	442,541	429,889	427,785	433,405
前年比	2.9%	▲6.0%	▲5.5%	▲3.0%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

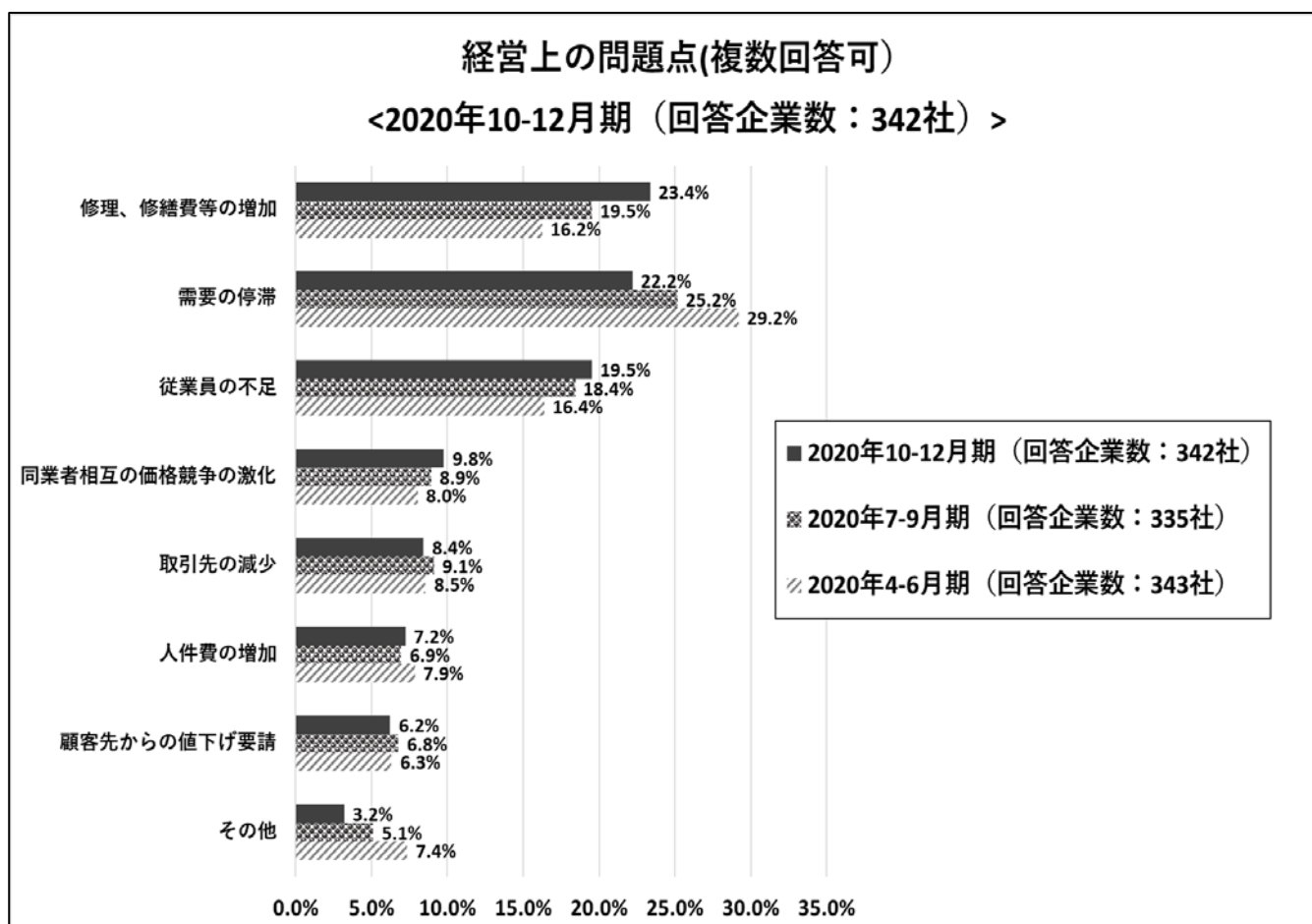
- 経常利益率の平均値は 6.2%となった。
- 最も回答が多かったのは、回答数 27 社(全体の 19%)の「0%~2%未満」となった。

有効回答数:145 社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点としては、1位「修理、修繕費等の増加」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」となった。
- 前期調査2位であった「修理、修繕費等の増加」23.4%(前期 19.5%)が、2008年の調査開始以来、初めての1位となった。
- 「その他」の記述回答は、「新型コロナウイルス感染症の影響」が42.1%を占めている。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響(その他記述回答の42.1%)
 (感染症拡大による影響、従業員の感染リスク、需要の減少や修繕費がかかるため廃業など)
- ・処分費用の値上げ
- ・最終処分場の不足

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、2008年10-12月期の本調査において回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

「景況動向調査(2008年10-12月期)」で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2021年1月8日～1月29日

(3) 調査方法

郵送によるアンケート

(4) 回答数・回答率

調査依頼企業数 1,025社

回答企業数 342社

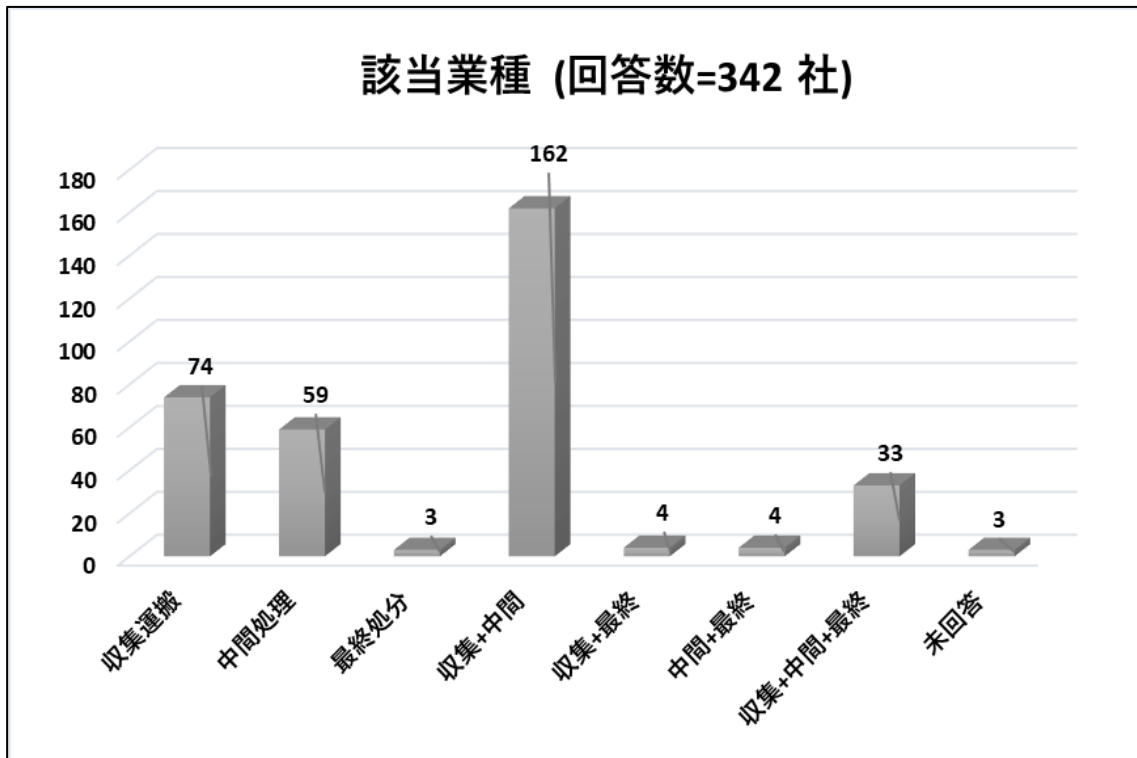
回答率 33.3%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

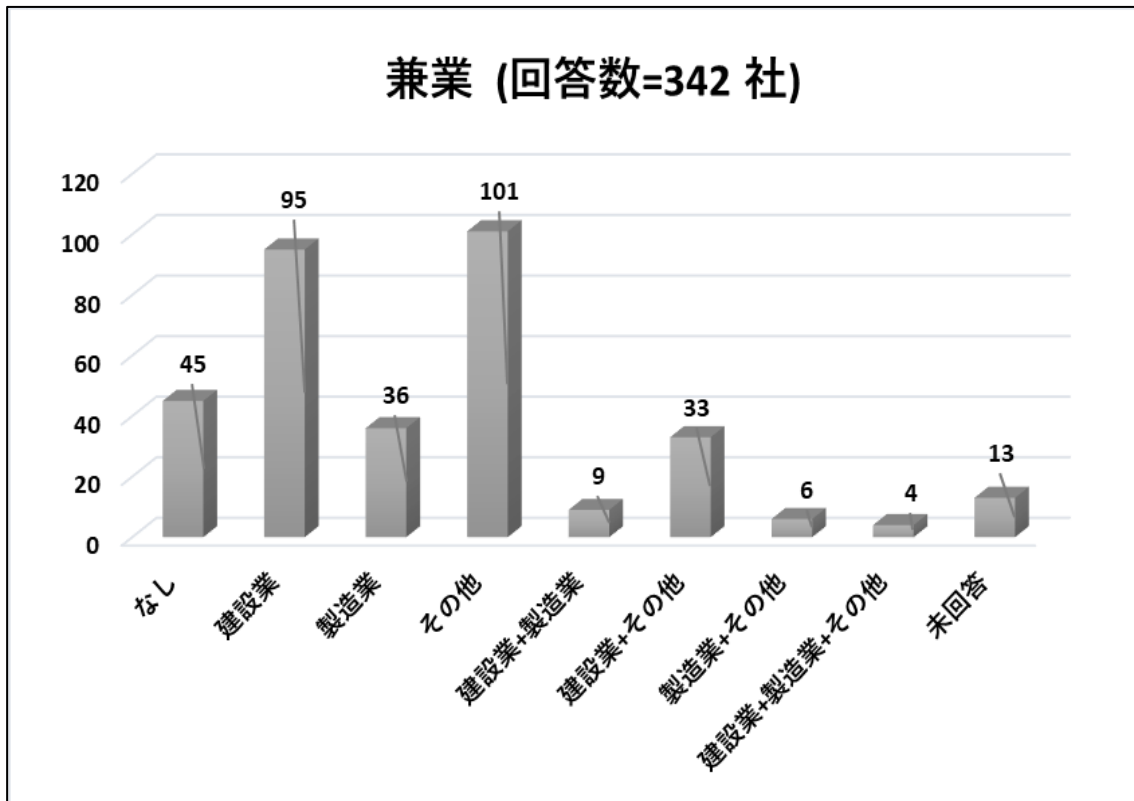
地域	企業数	構成比
北海道・東北	51	14.9%
関東	47	13.7%
信越・北陸	47	13.7%
中部	27	7.9%
近畿	45	13.2%
中国	30	8.8%
四国	33	9.6%
九州・沖縄	62	18.1%
合計	342	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	74	21.6%
中間処理	59	17.3%
最終処分	3	0.9%
収集+中間	162	47.4%
収集+最終	4	1.2%
中間+最終	4	1.2%
収集+中間+最終	33	9.6%
未回答	3	0.9%
合計	342	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	45	13.2%
建設業	95	27.8%
製造業	36	10.5%
その他	101	29.5%
建設業+製造業	9	2.6%
建設業+その他	33	9.6%
製造業+その他	6	1.8%
建設業+製造業+その他	4	1.2%
未回答	13	3.8%
合計	342	100.0%